

FTC-100 ファイルトランスコーダー  
取扱説明書

**ビデオトロン株式会社**

### 複写・転載を禁止します。

発行元の許可なく、この文書の記載内容を複写・転載することを禁止します。

### 本書に記載している商標

Microsoft®、Windows®、および Windows XP®、Windows Vista®は、Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Adobe®、Adobe Flash®、Adobe Photoshop®は、Adobe Systems Incorporated の米国および他の国における商標または登録商標です。

その他本書中に記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

### 変更について

この文書の情報は単なる情報として提供されるものであり、予告なく変更される可能性があります。

## この製品を安全にご使用いただくために

- 本製品を安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に本取扱説明書(以下、本書とします)を必ずお読みください。
- 本書はお読みになった後で、いつでも見られる所に保管してください。



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

### 1、電源プラグ、コードは

- 指定された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。
- AC電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- 差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- 濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- 抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にかからせないでください。
- コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- 機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチをOFFにしてからプラグを抜いてください。

### 2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合に はすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- 上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- 空調設備を確認してください。
- しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- 機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- 消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- 弊社にすぐ連絡ください。

### 3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- 特にタバコ、火気を取り扱おうと電気部品に引火し火災の原因になります。
- 機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

#### 4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- 部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- 電源が入っている時に行くと危険です。
- 規格の異なる部品の交換は危険です。

#### 5、その他

- 長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- 重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがの原因になります。
- ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
- 車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- 本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- 機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
- 周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。

## 注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

#### 1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

#### 2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

#### 3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- 規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。  
マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- 長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
- フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。  
通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- 強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

- 湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- 大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

**定期的なお手入れをおすすめします。**

- ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- 正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ファンのほこりの清掃
- カードエッジコネクタタイプ基板はコネクタの清掃を一ヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

\*\*上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先………ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL	042-666-6329
FAX	042-666-6330
受付時間	8:30~17:00
E-Mail	cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話	042-666-6311
緊急時 **	090-3230-3507
受付時間	9:00~17:00

\*\*携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 目次

この製品を安全にご使用いただくために.....	II
1. 概要.....	1
2. 特長.....	1
2.1. 画像変換ソフト.....	1
2.2. 画像ビューアソフト.....	1
3. 必要システム構成.....	2
4. インストール.....	3
4.1. アプリケーションインストール.....	3
4.2. プロテクトキー(HASP)のインストール.....	4
5. ソフトウェアの起動.....	5
5.1. 画像変換ソフトウェア.....	5
5.2. 画像ビューアソフトウェア.....	5
6. 画像変換ソフト.....	6
6.1. 対応フォーマット.....	6
6.1.1. 入力フォーマット.....	6
6.1.2. 出力フォーマット.....	6
6.2. 各部の名称と働き.....	7
6.2.1. メインウィンドウ.....	7
6.2.2. オプションウィンドウ.....	10
6.2.3. 出力フォーマットごとの設定ウィンドウ.....	15
6.3. 機能.....	19
6.3.1. ファイルの変換.....	19
6.3.2. フォルダの変換.....	19
6.3.3. 自動変換モード.....	19
6.3.4. FILL/KEY ファイルの自動識別.....	19
6.3.5. ピクセル比の補正.....	20
6.3.6. セルフキーの自動生成.....	20
7. 画像ビューアソフト.....	21
7.1. 対応フォーマット.....	21
7.2. 各部の名称と働き.....	22
7.2.1. メインウィンドウ.....	22
7.2.2. メニュー.....	23
7.2.3. ツールバー.....	24
7.2.4. サムネイル表示.....	25
7.2.5. プレビューウィンドウ.....	26
7.3. 印刷.....	28

7.3.1.	画面説明.....	28
7.3.2.	印刷サンプル.....	30

## 1. 概要

この製品は、汎用静止画およびビデオトン独自形式画像ファイルの、変換と閲覧を行うためのソフトウェアです。製品は「画像変換ソフト」と「画像ビューアソフト」の2つのソフトウェアで構成されています。

画像変換ソフトは、ビデオトン独自形式を含む様々なフォーマットの画像ファイルを、相互に変換することができます。

フォーマット変換のほかに、画像サイズの変換や FILL/KEY 結合・分離などの機能を備えています。

画像ビューアソフトは、様々なフォーマットの画像ファイルを、サムネイル形式で閲覧することができます。

Windows エクスプローラ風の表示で、フォルダーツリー・画像情報・サムネイルが表示されます。

## 2. 特長

### 2.1. 画像変換ソフト

- 様々なフォーマットの画像ファイルを相互変換
- ファイルのドラッグ & ドロップで自動変換
- HD/SD サイズや、指定した任意の画像サイズに自動変換
- 画像サイズ変換時、レターボックス／カットなどの拡大縮小方法を指定可能
- レターボックス時の背景色を指定可能
- FILL/KEY 別ファイルとなっている画像を、1枚のアルファチャンネル付き画像として結合
- 複数ファイルの同時変換時、FILL/KEY ファイルかどうかファイル名から自動識別
- アルファチャンネル付きの画像を FILL/KEY 別ファイルとして変換・保存
- アルファチャンネルのない画像にセルフキーを生成可能
- 出力フォーマットごとに、変換オプションを設定可能 (JPEG 画質、TIFF 圧縮方法など)

### 2.2. 画像ビューアソフト

- ビデオトン独自形式を含む様々なフォーマットの画像ファイルをサムネイル形式で閲覧
- 表示するサムネイルのサイズを変更可能
- サムネイルと同時にフォーマット・画像サイズの情報コンパクトに表示
- 画像をダブルクリックすると画像のプレビューを表示
- プレビューでは、拡大縮小表示や、FILL のみ/KEY のみ表示/アルファブレンド表示などを切り替え可能
- プレビュー画像の印刷機能
- ドッキングウィンドウ形式で、ユーザーの使いやすい配置にカスタマイズすることが可能

### 3. 必要システム構成

- Intel® 1.3GHz クラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ (Core™ 2 Duo 2.0GHz 以上を推奨)
- 256MB の RAM (1GB 以上を推奨)
- インストール時に 60MB 以上の空き容量が必要
- 32bit カラー表示が可能なグラフィックアクセラレータおよびディスプレイ
- Microsoft® Windows XP® Professional (SP3) 日本語版 (32bit 版)、  
Windows Vista® Ultimate、Enterprise (SP1 または 2) 日本語版 (32bit 版および 64bit 版)、  
Windows 7 Professional、Ultimate、Enterprise 日本語版 (32bit 版および 64bit 版)
- Microsoft Internet Explorer 6.0(SP2)以降

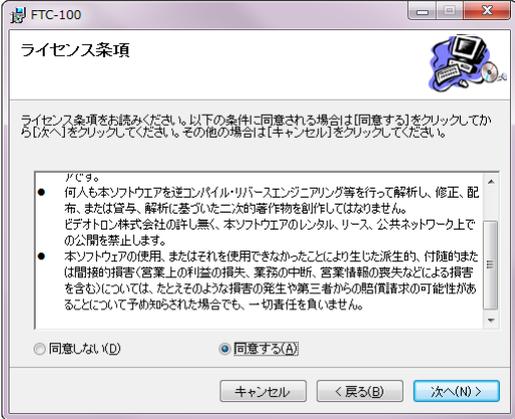
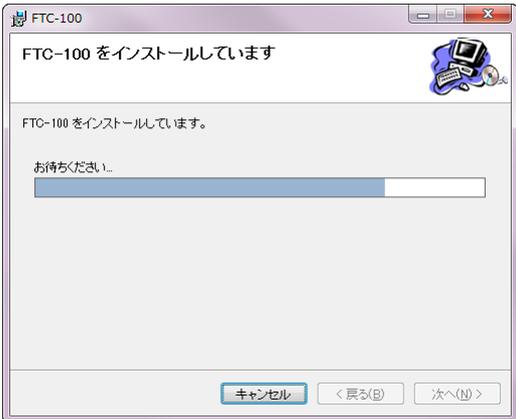
## 4. インストール

### 4.1. アプリケーションインストール

画像変換ソフト・画像ビューアソフトのインストールは、以下の手順で行います。

1. Windows 起動後、Administrator 権限のあるユーザーでログオンします。
2. ダウンロードした、またはインストール CD 内の「App」フォルダーを開きます。
3. フォルダー内の「FTC100\_Setup.msi」をダブルクリックします。
4. 画面上に次のダイアログが順番に表示されます。

各項目を確認しながら[次へ]をクリックしてインストールを進めてください。

- 1) 
- 2) 
- 3) 
- 4) 
- 5) 
- 6) 

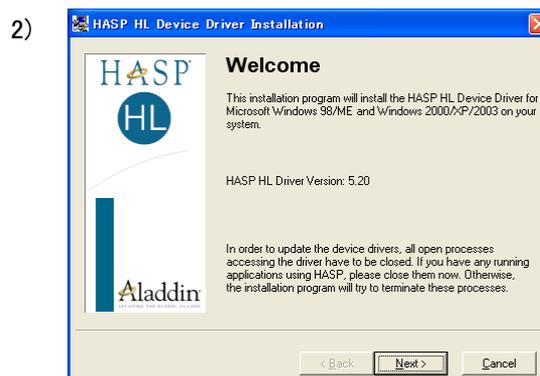
## 4.2. プロテクトキー(HASP)のインストール

プロテクトキー(HASP)のインストールは、以下の手順で行います。

1. ダウンロードした、またはインストール CD 内の「Driver」-「HASP」フォルダーを開きます。
2. フォルダ内の「HASPUserSetup.exe」をダブルクリックします。
3. 画面上に次のダイアログが順番に表示されます。  
各項目を確認しながら[次へ]をクリックしてインストールを進めてください。
4. インストールが正常に行われると、プロテクトキーの LED が赤く点灯します。



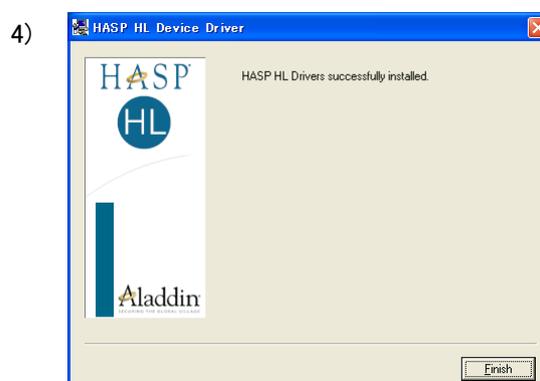
[U.S.English]を選択して、[OK]をクリックします。



[NEXT]をクリックします。



[I accept the ...]を選択して、[Install]をクリックします。



[Finish]をクリックします。

## 5. ソフトウェアの起動

※ 本ソフトウェアを使用するにはプロテクトキーが必要です。

ソフトウェアを起動する前に、USB ポートに付属のプロテクトキーを接続してください。

※ プロテクトキーの LED が点灯していることを確認してください。

正しく接続されていない、ドライバが正しくインストールされていないなどの時は、本ソフトウェアは使用できません。

### 5.1. 画像変換ソフトウェア

デスクトップ、またはスタートメニューの[スタート]－[すべてのプログラム]－[Videotron アプリケーション]－[FTC-100]

以下にある、「VImgConv」アイコンをダブルクリックしてください。



VImgConv アイコン

### 5.2. 画像ビューアソフトウェア

デスクトップ、またはスタートメニューの[スタート]－[すべてのプログラム]－[Videotron アプリケーション]－[FTC-100]

以下にある、「VImgShow」アイコンをダブルクリックしてください。



VImgShow アイコン

## 6. 画像変換ソフト

### 6.1. 対応フォーマット

#### 6.1.1. 入力フォーマット

入力可能なフォーマットは以下の通りです。

ファイル形式		備考
BMP	RGB/カラーマップ/GRAY、非圧縮/RLE 圧縮	JPEG・PNG 形式 BMP は非対応
JPG	RGB/YCbCr/GRAY、ベースライン/プログレッシブ	ロスレス JPEG は非対応
PCT	16・32 ビット Direct Bit、2～8 ビット Pixmap	
PNG	RGB/カラーマップ/GRAY、アルファチャンネル対応 非圧縮/Deflate 圧縮	
PSD	Adobe® Photoshop® 形式、8 ビット RGB	
SWF	Adobe® Flash® 形式	音声データの抽出は非対応
TGA	RGB/カラーマップ/GRAY、Image Origin ビット対応 非圧縮/RLE 圧縮	
TIF	RGB/CMYK/YCbCr/GRAY、非圧縮/JPEG 圧縮/Deflate 圧縮	マルチページ TIFF には非対応
PNG	高速 VPNG、通常 VPNG、CF9940/45VPNG に対応	ビデオトロン独自形式
J2C		ビデオトロン独自形式
VJ2	静止画・音声付静止画・動画	ビデオトロン独自形式
STW ST5	静止画・ロール	ビデオトロン独自形式 (送出イメージデータを含むファイルのみ対応)

#### 6.1.2. 出力フォーマット

出力可能なフォーマットは以下の通りです。

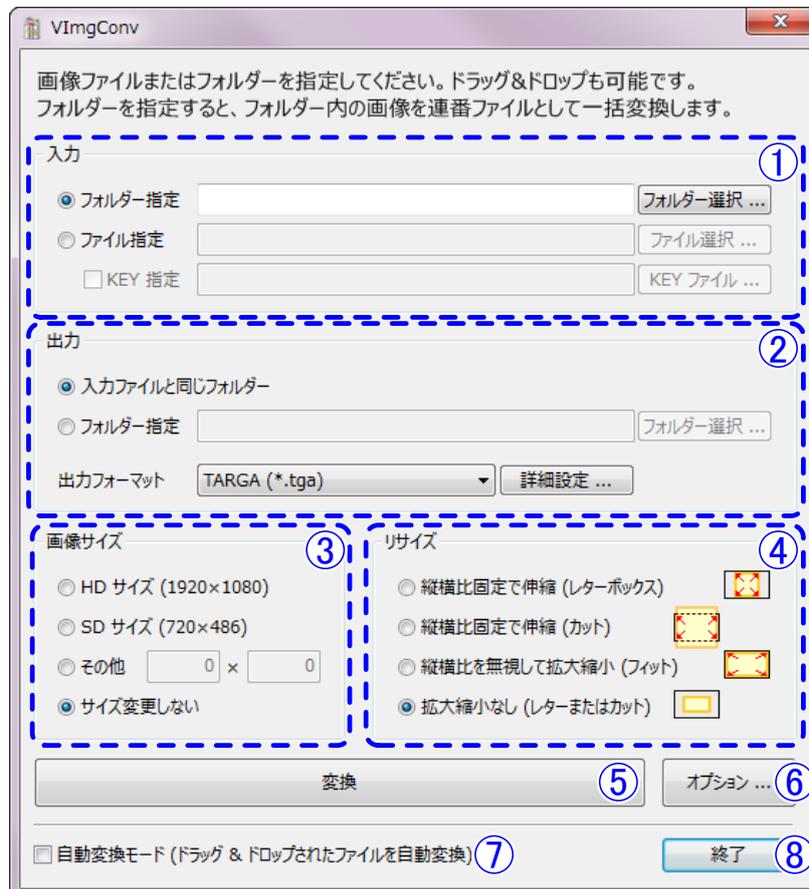
ファイル形式		備考
BMP	RGB、非圧縮/RLE 圧縮	JPEG・PNG 形式 BMP は非対応
JPG	RGB、ベースライン/プログレッシブ、画質設定(0:最低～100:最高)	ロスレス JPEG は非対応
PCT	32 ビット RGB	
PNG	RGB、アルファチャンネル対応、非圧縮/Deflate 圧縮	
TGA	RGB、非圧縮/RLE 圧縮	
TIF	RGB、非圧縮/JPEG 圧縮/Deflate 圧縮	マルチページ TIFF には非対応
PNG	高速 VPNG、通常 VPNG、CF9940/45VPNG に対応、静止画/ロール、機種固有情報の設定可能	ビデオトロン独自形式
J2C	FILL・KEY、YC 結合/分離、フィールド結合/分離	ビデオトロン独自形式
VJ2	静止画	ビデオトロン独自形式

## 6.2. 各部の名称と働き

### 6.2.1. メインウィンドウ

ソフトウェアを起動すると、メインウィンドウが表示されます。

この画面では入力／出力ファイルの設定や変換オプションの設定、変換の実行を行うことができます。



#### 1. 入力

入力(変換元)フォルダー／ファイルの指定を行います。

##### フォルダー指定

指定したフォルダー内の全画像ファイルを一括変換します。

[フォルダー選択...]ボタンをクリックすると、フォルダー選択ダイアログが表示されます。

##### ファイル指定

指定したファイルを変換します。

[ファイル選択...]ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。

##### KEY 指定

KEY の画像ファイルを別途指定する場合にチェックマークを付けます。

ここで指定したファイルと「ファイル指定」で選択されたファイルが、1 枚の画像ファイルとして結合されます。

[KEY ファイル...]ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。

## 2. 出力

出力(変換先)フォルダーの指定と、フォーマットの選択を行います。

### 入力ファイルと同じフォルダー

入力ファイルと同じ場所に変換後のファイルを出力します。

### フォルダー指定

指定したフォルダーに変換後のファイルを出力します。

[フォルダー選択...]ボタンをクリックすると、フォルダー選択ダイアログが表示されます。

### 出力フォーマット

出力する画像のフォーマットを選択します。

[詳細設定...]ボタンをクリックすると、フォーマットの詳細設定ダイアログが表示されます。

選択している出力フォーマットによって、表示されるウィンドウが変わります。

## 3. 画像サイズ

出力する画像のサイズを設定します。

**HD サイズ (1920x1080)**.....ハイビジョン画角の画像を出力します。

**SD サイズ (720x486)**.....SD 画角の画像を出力します。

**その他**.....出力する画像のサイズを幅×高さの数値で指定します。

**サイズ変更しない**.....入力ファイルのサイズのまま出力します。

## 4. リサイズ

画像サイズを変更する時の、拡大縮小方法を選択します。

### 縦横比固定で伸縮(レターボックス)

入力画像の全体が入りきるように、縦横比固定で拡大縮小します。

画像がない部分を背景色で埋めます。(オプションで設定可能)

### 縦横比固定で伸縮(カット)

背景部分ができないように、縦横比固定で拡大縮小します。

画像の余り部分は切り捨てます。

### 縦横比を無視して拡大縮小(フィット)

出力画像サイズに合わせて、縦横比を無視して拡大縮小します。

### 拡大縮小なし(レターまたはカット)

拡大縮小せず、入力画像を出力画像の中央に配置します。

出力画像サイズより小さい時は、入力画像の周囲を背景色で埋めます。

出力画像サイズより大きい時は、入力画像の余り部分を切り捨てます。

HD から SD、SD から HD に変換した時、リサイズの設定によって次のよう出力画像が変化します。

	元画像	レターボックス	カット	フィット	拡大縮小なし
HD→SD ICS-SDI					
SD→SDI ICS-SDI					

#### 5. [変換]ボタン

入力フォルダー／ファイル、出力フォルダー、画像サイズなどの設定を行った後、このボタンをクリックすると、設定された内容に従って画像の変換を開始します。

#### 6. [オプション]ボタン

オプションウィンドウを表示します。

ここでは画像変換ソフト全体に関わる設定を行うことができます。

詳細は「6.2.2 オプションウィンドウ」を参照してください。

#### 7. [自動変換モード]チェックボックス

フォルダー／ファイルをドラッグ＆ドロップするだけで自動的に変換を行う「自動変換モード」の ON/OFF を切り替えます。

同じ設定で何回も画像を変換する時などに使用します。

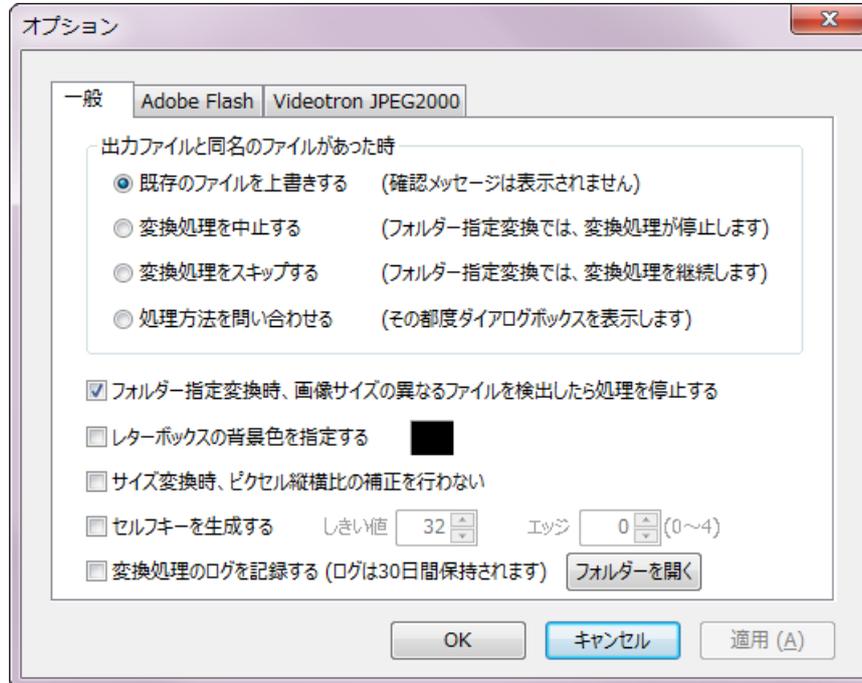
#### 8. [終了]ボタン

本ソフトウェアを終了します。

## 6.2.2. オプションウィンドウ

メインウィンドウの[オプション]ボタンをクリックすると、このウィンドウが表示されます。

### 「一般」タブ ——— 一般的なソフトウェア設定



#### 1. 出力ファイルと同名のファイルがあった時

同名ファイルが存在する時の処理方法を設定します。

##### 既存のファイルを上書きする

確認メッセージを表示せず、既存ファイルを上書きします。

##### 変換処理を中止する

変換処理を中止します。

フォルダー変換など複数画像を連続して変換している時は、処理を中止します。

##### 変換処理をスキップする

変換処理をスキップします。

複数画像を連続変換している時は、次の画像の変換に進みます。

##### 処理方法を問い合わせる

上書き／中止／スキップを指定するダイアログボックスを表示します。

複数画像の連続変換中も、その都度ダイアログボックスが表示されます。

#### 2. フォルダー指定変換時、画像サイズの異なるファイルを検出したら処理を停止する

動画の連番ファイルなどを一括変換する時、画像サイズのエラーを検知するための機能です。

### 3. レターボックスの背景色を指定する

チェックを付けると、背景色を設定することができます。

指定しない場合の背景色は黒となります。

### 4. サイズ変換時、ピクセル縦横比の補正を行わない

初期設定では、HD→SD などの画像サイズ変換時にピクセル縦横比(ピクセルアスペクト比)の補正を行います。

チェックを付けると、このようなサイズ変換時にピクセル縦横比の補正を行いません。

(変換前・変換後どちらも正方ピクセルの画像として扱います)

### 5. セルフキーを生成する

KEY のない(アルファチャンネルのない)画像を変換する場合に、セルフキーを生成します。

KEY で抜かない色レベルの最低値を「しきい値」で設定します。(0~255)

また KEY の縁の厚みを「エッジ」で設定します。(0~4)

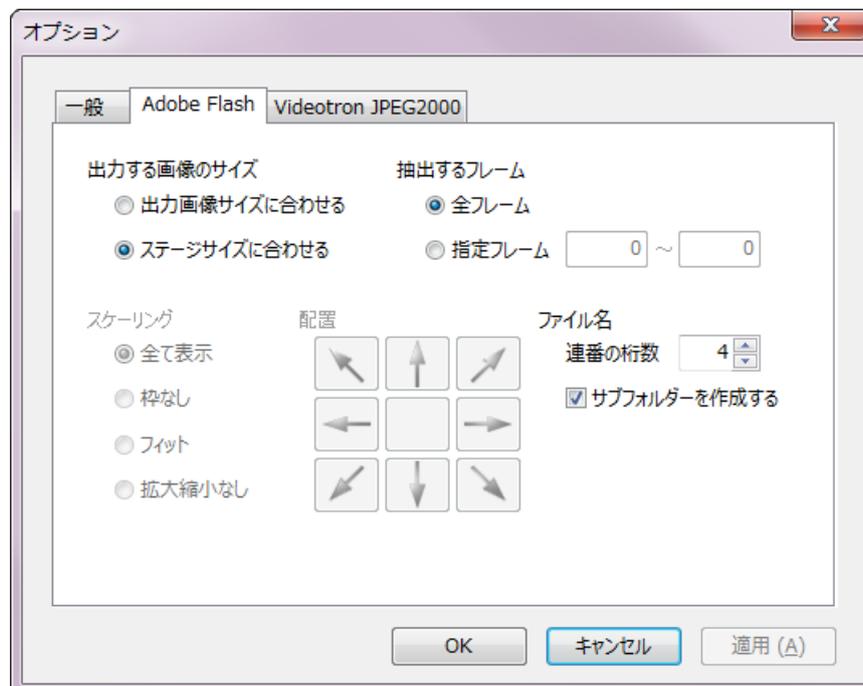
### 6. 変換処理のログを記録する

画像変換ソフトの動作ログを、日ごとのテキストファイルに保存します。

ログファイルはプログラムデータフォルダーに保存され、30 日を経過したログから順次削除されます。

[フォルダーを開く]ボタンをクリックすると、ログが保存されているフォルダーをエクスプローラで開きます。

## 「Adobe Flash」タブ ——— Adobe Flash ファイルを入力ファイルに指定した時の設定



## 1. 出力する画像のサイズ

Flash ファイルはオブジェクトアニメーションファイルなので、任意サイズに拡大縮小することが可能です。  
このタブでは、入力 Flash ファイルの画像サイズをどのように扱うか設定します。

### 出力画像サイズに合わせる

Flash の画像サイズ = 出力画像サイズ として変換します。  
ウィンドウ下部のスケーリング・配置設定が有効となります。

### ステージサイズに合わせる

Flash の画像サイズ = Flash のステージサイズとして変換します。  
Flash から抽出された画像は、メインウィンドウの画像サイズ・リサイズ設定に基づいて変換されます。

## 2. 抽出するフレーム

Flash ファイルから抽出するフレームを指定します。

- 全フレーム ..... Flash ファイルの全フレームを抽出します。
- 指定フレーム ..... 指定した範囲内のフレームのみを抽出します。

## 3. スケーリング

Flash オブジェクトを出力画像サイズに合わせて拡大縮小する時の、拡大縮小方法を選択します。

### 全て表示

Flash オブジェクト全体が入りきるように、縦横比固定で拡大縮小します。  
画像がない部分は Flash に設定されている背景色で埋められます。

### 枠なし

背景部分ができないように、縦横比固定で拡大縮小します。  
Flash オブジェクトの余り部分は切り捨てます。

### フィット

出力画像サイズに合わせて、縦横比を無視して拡大縮小します。

### 拡大縮小なし

拡大縮小せず、出力画像サイズのステージ上に Flash オブジェクトを配置します。

#### 4. 配置

Flash オブジェクトを出力画像サイズに合わせて拡大縮小した時の、Flash オブジェクトの配置方法を選択します。

元画像



配置	抽出画像	配置	抽出画像	配置	抽出画像

#### 5. ファイル名

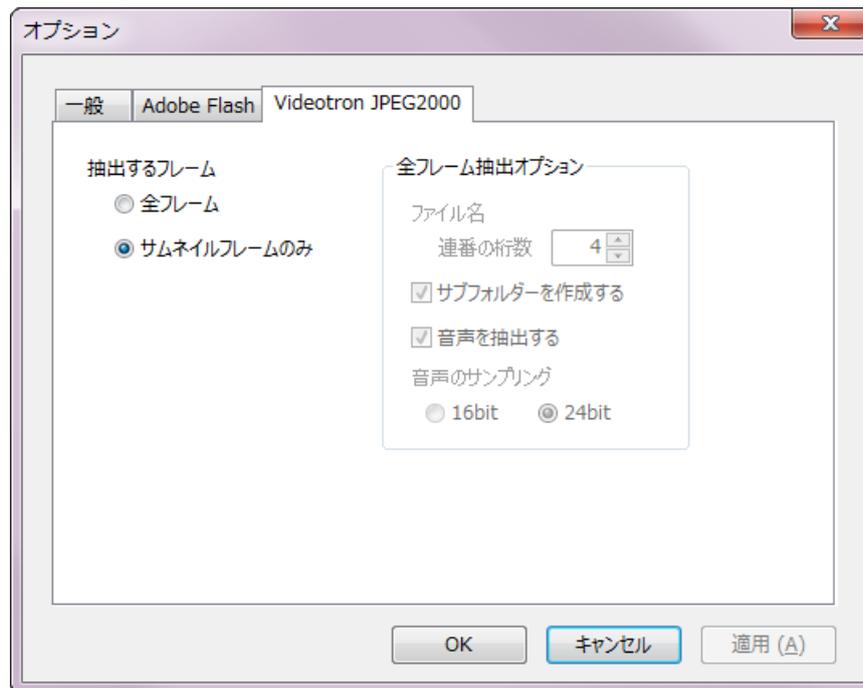
出力するファイルに付ける連番の桁数と、サブフォルダー作成の有無を設定します。

出力ファイルは「元のファイル名\_連番」というファイル名になります。

**連番の桁数**……………連番の桁数を指定します。

**サブフォルダーを作成する**……………出力フォルダーの下に Flash ファイル名のフォルダーを作成し、そのフォルダー内に連番ファイルを保存します。

## 「Videotron JPEG2000」タブ —— VJ2 ファイルを入力ファイルに指定した時の設定



### 1. 抽出するフレーム

VJ2 ファイルから抽出するフレームを指定します。

#### 全フレーム

VJ2 ファイルに含まれる全フレームを抽出します。

#### サムネイルフレームのみ

サムネイルフレームに設定されているフレームのみを抽出します。

サムネイルフレームが設定されていない時は、先頭フレームを抽出します。

### 2. 全フレーム抽出オプション

出力するファイルに付ける連番の桁数と、サブフォルダー作成の有無、音声抽出の有無を設定します。

出力ファイルは「元のファイル名\_連番」というファイル名になります。

#### 連番の桁数

連番の桁数を指定します。

#### サブフォルダーを作成する

出力フォルダーの下に VJ2 ファイル名のフォルダーを作成し、そのフォルダー内に連番ファイルを保存します。

#### 音声を抽出する

VJ2 ファイルに含まれる音声を WAV ファイルとして保存します。

#### 音声のサンプリング

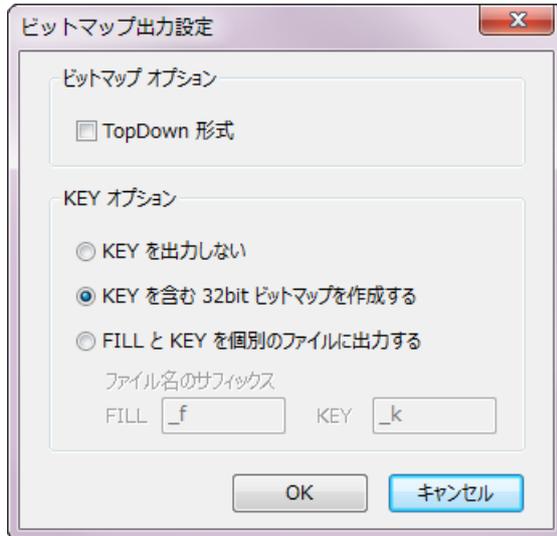
WAV ファイルのビット深度を選択します。(16 ビットまたは 24 ビット)

### 6.2.3. 出力フォーマットごとの設定ウィンドウ

メインウィンドウの[詳細設定]ボタンをクリックすると、選択されているフォーマットに応じた設定ウィンドウが表示されます。

設定は大きく分けて、フォーマットに依存する個別設定と、KEY の出力方法の 2 つの設定項目が存在します。

#### 1. ビットマップ



##### TopDown 形式

先頭ラインから末尾ラインに向かってピクセルデータを保存します。(通常は末尾ラインから先頭ラインの順)

##### KEY を出力しない

入力ファイルのアルファチャンネルを無視して、RGB データのみを保存します。

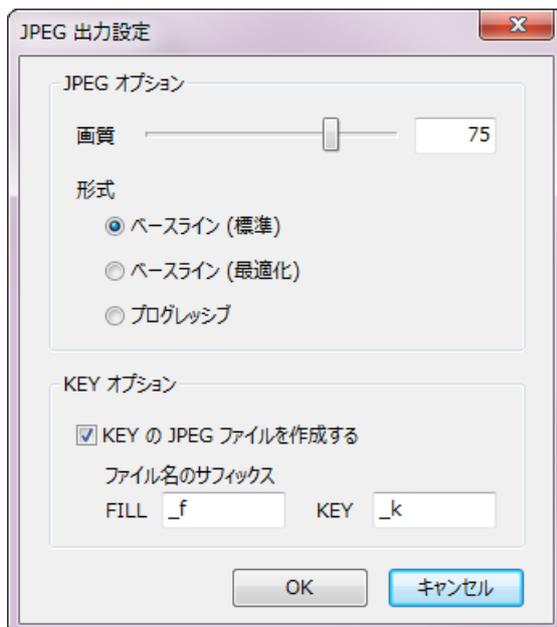
##### KEY を含む 32bit ビットマップを作成する

入力ファイルのアルファチャンネルを含む、32bit ビットマップを作成します。(環境によっては表示できない場合があります)

##### FILL と KEY を個別のファイルに出力する

アルファチャンネルを別のファイルとして保存します  
サフィックス(ファイル名末尾に付加する文字)を指定します。

#### 2. JPEG



##### 画質

JPEG ファイルの画質を 0(最低)~100(最高)で指定します。

##### ベースライン(標準)

基本的な JPEG ファイルです。

##### ベースライン(最適化)

標準と比較して、ファイルサイズが若干小さくなります。

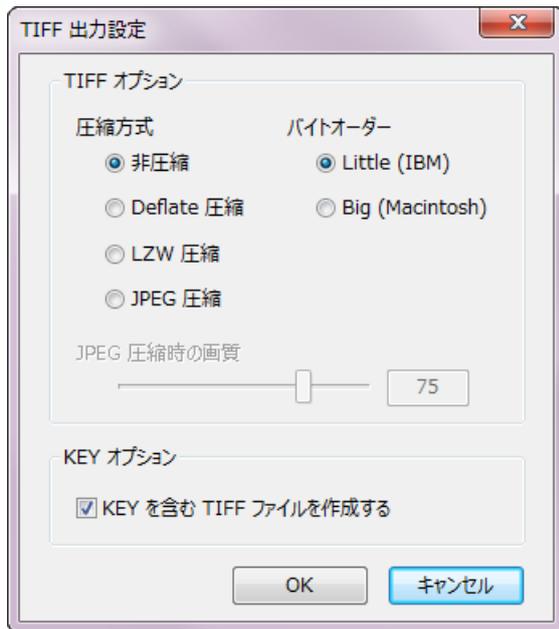
##### プログレッシブ

プログレッシブ JPEG を作成します。

##### KEY の JPEG ファイルを作成する

アルファチャンネルを別のファイルとして保存します  
サフィックス(ファイル名末尾に付加する文字)を指定します。

### 3. TIFF



#### 圧縮方式

TIFF ファイルの圧縮方式を指定します。

JPEG 圧縮を選択した時は、画質も同時に指定します。

(JPEG 圧縮は非可逆圧縮です)

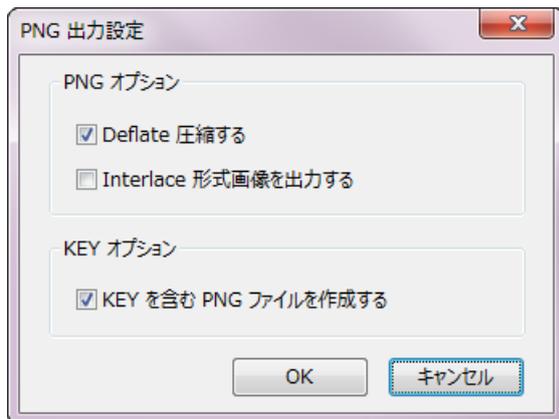
#### バイトオーダー

ピクセルデータの並び順を指定します。

#### KEY を含む TIFF ファイルを作成する

アルファチャンネルを含む 32bit の TIFF ファイルを作成します。

### 4. PNG



#### Deflate 圧縮する

Deflate 圧縮(可逆圧縮)された PNG ファイルを作成します。

#### Interlace 形式画像を作成する

インターレース PNG を作成します。

(ファイルサイズが膨らみます)

#### KEY を含む PNG ファイルを作成する

アルファチャンネルを含む 32bit の PNG ファイルを作成します。

### 5. TARGA



#### RLE 圧縮

画像をランレングス圧縮します。

#### TopDown 形式

先頭ラインからピクセルデータを末尾ラインに向かってピクセルデータを保存します。

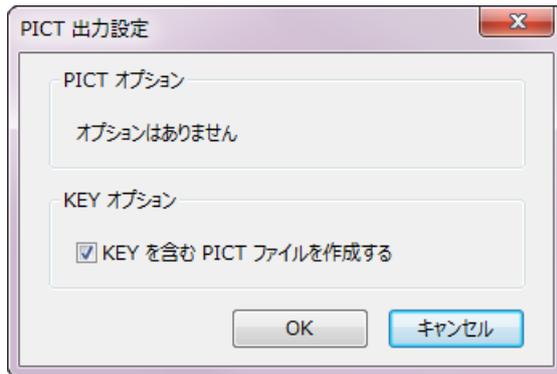
#### Pixel の並びを反転

右から左に向かってピクセルデータを保存します。

#### KEY を含む TARGA ファイルを作成する

アルファチャンネルを含む 32bit の TARGA ファイルを作成します。

## 6. PICT



### KEYを含む PICT ファイルを作成する

アルファチャンネルを含む 32bit の PICT ファイルを作成します。

## 7. VideotronPNG



### 種別

出力する vPNG ファイルの種別を選択します。

### 出力画像

vPNG ファイルに含めるデータを選択します。

### ロール方向

フォルダー単位で vPNG ファイルに変換すると、1つのロール vPNG ファイルが作成されます。

その時のロール方向をここで指定します。

## 8. Videotron JPEG2000



### 機種固有データを指定する

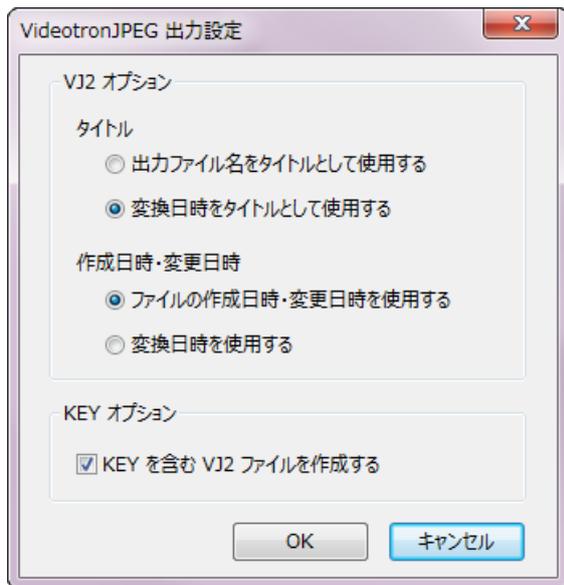
J2C ファイルに含める機種固有データを、ファイルで指定します。選択されたファイルの内容が機種固有データとして使用されます。

### KEY の J2C ファイルを作成する

アルファチャンネルを別のファイルとして保存します

サフィックス(ファイル名末尾に付加する文字)を指定します。

## 9. Videotron JPEG



### タイトル

タイトルの設定方法を選択します。

### 作成日時

作成日時の設定方法を選択します。

### KEYを含むVJ2ファイルを作成する

KEY データを含む VJ2 ファイルを作成します。

## 6.3. 機能

### 6.3.1. ファイルの変換

ファイルを変換するには、次の手順で操作を行います。

1. [入力]のファイル指定で、変換元のファイルを選択します。必要であれば KEY ファイルを別指定します。
2. [出力]のフォルダー選択で、出力するフォルダーを指定します。
3. [出力フォーマット]で、変換先のフォーマットを指定します。必要に応じて、出力フォーマットの詳細設定を行います。
4. 出力画像サイズとリサイズ方法を選択します。
5. [変換]ボタンを押すと、指定された画像が変換されます。

### 6.3.2. フォルダの変換

フォルダー単位で画像を変換するには、次の手順で操作を行います。

1. [入力]のフォルダー指定で、変換元のファイルが入っているフォルダーを選択します。
2. [出力]のフォルダー選択で、出力するフォルダーを指定します。
3. [出力フォーマット]で、変換先のフォーマットを指定します。必要に応じて、出力フォーマットの詳細設定を行います。
4. 出力画像サイズとリサイズ方法を選択します。
5. [変換]ボタンを押すと、指定されたフォルダー内の全画像が変換されます。  
変換中は進行状況を示すステータスウィンドウが表示されます。

※ フォルダー単位変換では、FILL/KEY ファイルの自動識別機能が働きます。  
詳細は「6.3.4 FILL/KEY ファイルの自動識別」を参照してください。

### 6.3.3. 自動変換モード

自動変換モードでは、あらかじめ設定した出力ファイルのフォーマット・画像サイズに従って、メインウィンドウにドラッグ & ドロップされたフォルダー／ファイルを、その都度自動的に変換します。

自動変換モードの動作は、ドロップされたフォルダー／ファイルによって切り替わります。

- 1つのファイル……………ファイル指定されたものとみなして、ドロップされたファイルを変換します。
- 2つ以上のファイル………ドロップされた全ファイルを変換します。(FILL/KEY の自動変換機能が働きます)

詳細は「6.3.4 FILL/KEY ファイルの自動識別」を参照してください。

- 1つのフォルダー……………フォルダー指定されたものとみなして、フォルダー内の全画像ファイルを変換します。
- 2つ以上のフォルダー…変換できません。フォルダーを1つずつドラッグ & ドロップしてください。

※ 出力ファイルフォーマットに vPNG を選択して複数ファイルの自動変換を行うと、ロールの vPNG ファイルが1つ作成されます。

### 6.3.4. FILL/KEY ファイルの自動識別

フォルダー単位での画像変換時、複数ファイルをドラッグ & ドロップした時の自動変換モードでは、入力ファイルが FILL/KEY ファイルかどうか自動識別して、必要に応じて2つのファイルを結合して変換します。

以下の条件を満たす時に、FILL/KEY ファイルとして認識します。(大文字・小文字の区別はありません)

- ファイル名の末尾が「\_f」または「\_fill」または「\_fil」となっているファイルが存在する
- ファイル名の末尾が「\_k」または「\_key」となっているファイルが存在する
- ファイル名の「\_」より前の部分が同一

### 6.3.5. ピクセル比の補正

入力または出力の画像サイズが以下の時、ピクセルアスペクト比の自動補正を行うことができます。

画像サイズ	システム	ピクセルアスペクト比
1440 × 1080、1280 × 720	HD 画角(16:9)	4:3 (1.3333...)
720 × 486、720 × 480、704 × 480、352 × 240	NTSC スタンダード(4:3)	10:11 (0.9090...)
720 × 576、704 × 576、352 × 288	PAL スタンダード(4:3)	12:11 (1.0909...)

これ以外の画像サイズの場合は、ピクセルアスペクト比が 1:1 (正方ピクセル) として変換を行います。

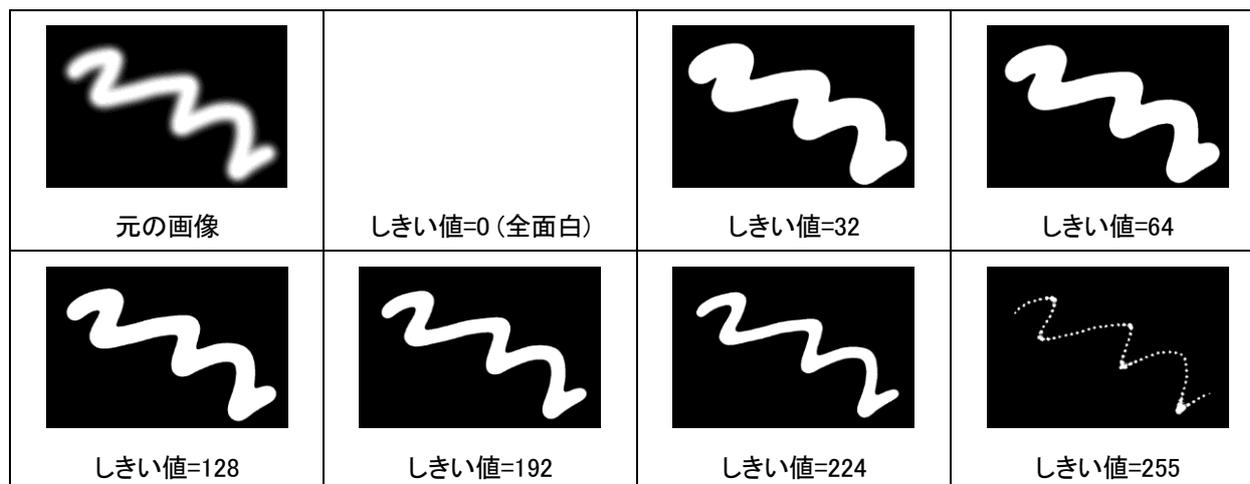
### 6.3.6. セルフキーの自動生成

入力ファイルが FILL のみでアルファチャンネルを含まない場合、セルフキーを自動生成することができます。

この時、画像として認識する色レベルを「しきい値」として、KEY の縁の厚みを「エッジ」として指定できます。

しきい値は、「この色レベル以上の明るさならば KEY を白にする」の値を 0~255 で指定します。

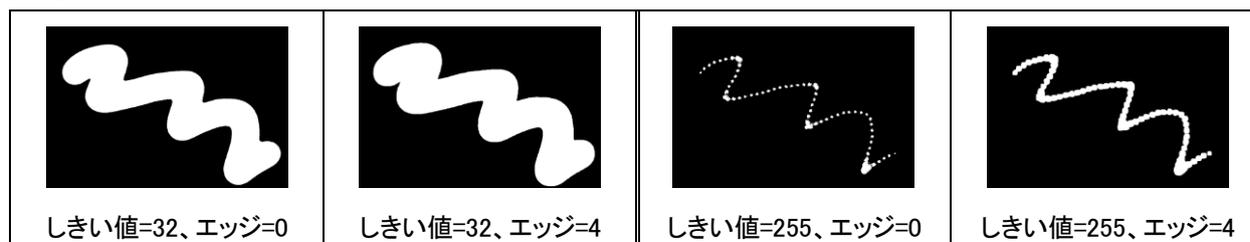
初期値は 32 です。



(エッジは全て 0)

エッジは、しきい値をかけて抽出した KEY の輪郭に、0~4 の範囲で厚みを指定します。

初期値は 0 です。



## 7. 画像ビューアソフト

### 7.1. 対応フォーマット

表示可能なフォーマットは以下の通りです。

ファイル形式		備考
BMP	RGB/カラーマップ/GRAY、非圧縮/RLE 圧縮	JPEG・PNG 形式 BMP は非対応
JPG	RGB/YCbCr/GRAY、ベースライン/プログレッシブ	ロスレス JPEG は非対応
PCT	16・32 ビット Direct Bit、2～8 ビット Pixmap	
PNG	RGB/カラーマップ/GRAY、アルファチャンネル対応 非圧縮/Deflate 圧縮	
PSD	Adobe® Photoshop® 形式、8 ビット RGB	
SWF	Adobe® Flash® 形式	先頭フレームの画像を表示し ます。
TGA	RGB/カラーマップ/GRAY、Image Origin ビット対応 非圧縮/RLE 圧縮	
TIF	RGB/CMYK/YCbCr/GRAY、非圧縮/JPEG 圧縮/Deflate 圧縮	マルチページ TIFF には非対応
PNG	高速 VPNG、通常 VPNG、CF9940/45VPNG に対応	ビデオトロン独自形式
J2C		ビデオトロン独自形式
VJ2	静止画・音声付静止画・動画	ビデオトロン独自形式
STW ST5	静止画・ロール	ビデオトロン独自形式 (送出イメージデータを含むファ イルのみ対応)

※ Adobe Flash ファイルは、先頭フレームの画像を表示します。

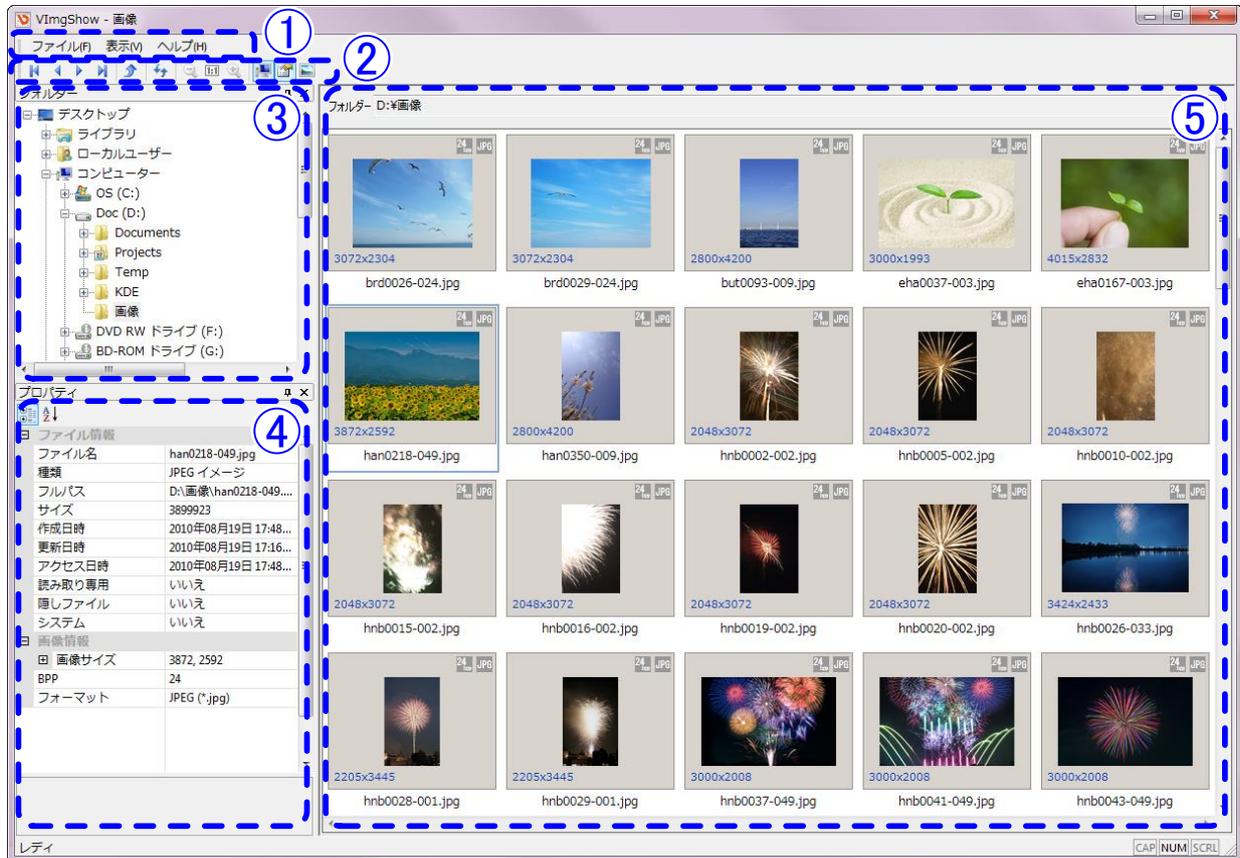
※ 複数の画像を含む VideotronPNG ファイルや STW/ST5 ファイルは、先頭の画像のみを表示します。

※ 動画の VJ2 ファイルの場合、サムネイルフレーム(未設定の時は先頭フレーム)の画像を表示します。

## 7.2. 各部の名称と働き

### 7.2.1. メインウィンドウ

ソフトウェアを起動すると、メインウィンドウが表示されます。



#### 1. メニューバー

メインメニューです。詳細は「7.2.2 メニュー」を参照してください。

#### 2. ツールバー

メインツールバーです。詳細は「7.2.3 ツールバー」を参照してください。

#### 3. フォルダーツリーパネル

コンピュータのフォルダ構造を、ツリー形式で表示します。

このツリーで選択したフォルダーが、右側のサムネイルパネルに表示されます。

このパネルはドッキング／フローティング切り替えが可能となっており、好みに合わせて自由に配置することができます。

#### 4. プロパティパネル

右側のサムネイルパネルに選択されているファイルの情報を表示します。

選択しているファイルによって、表示される項目が異なります。

このパネルはドッキング／フローティング切り替えが可能となっており、好みに合わせて自由に配置することができます。

## 5. サムネイルパネル

フォルダーツリーパネルで選択されているフォルダー内のファイルを表示します。

パネル最上段には、現在表示しているフォルダーのフルパスを表示します。

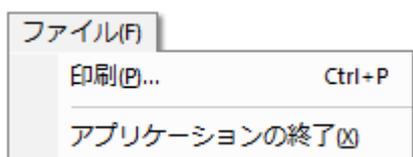
読み込み可能な画像ファイルについてはサムネイル画像を、それ以外のフォルダー・ファイルはアイコンを表示します。

サムネイル画像をダブルクリックすると、プレビューウィンドウが表示されます。

サムネイル表示の詳細は「7.2.4 サムネイル表示」を参照してください。

## 7.2.2. メニュー

### 1. ファイル



印刷..... フォルダ－内の画像を印刷します。

アプリケーションの終了..... 本ソフトウェアを終了します。

### 2. 表示



フォルダーツリー..... フォルダーツリーパネルの表示／非表示を切り替えます。

ステータスバー..... ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。

プロパティパネル..... プロパティパネルの表示／非表示を切り替えます。

プレビュー..... プレビューウィンドウの表示／非表示を切り替えます。

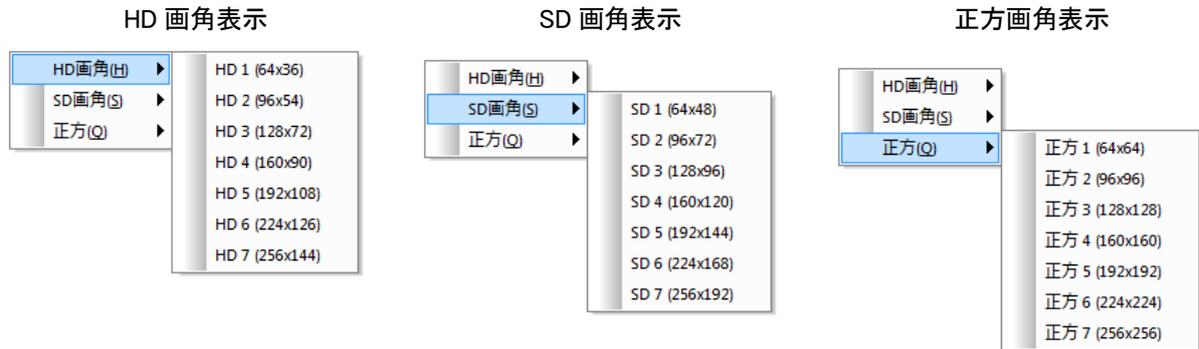
サムネイルの大きさ..... サムネイルの表示サイズを変更します。

アプリケーションの外観..... ソフトウェアの外観を変更します。

最新の情報に更新..... 表示中のフォルダ－を再読み込みします。

## 2-1. 表示サムネイルの大きさ

選択したサイズでサムネイルが表示されます。



## 2-2. 表示アプリケーションの外観

選択したスタイルでソフトウェアが表示されます。



## 3. ヘルプ



バージョン情報 .....ソフトウェアのバージョンを表示します。

### 7.2.3. ツールバー

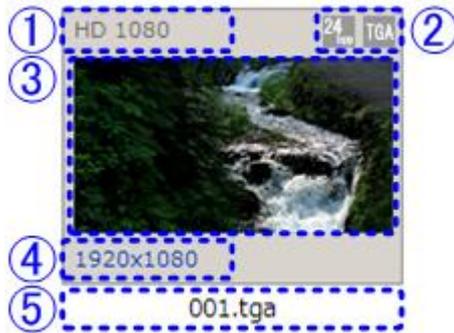
-  フォルダー内の先頭の画像に移動します。
-  現在選択中の1つ前の画像に移動します。
-  現在選択中の1つ次の画像に移動します。
-  フォルダー内の末尾の画像に移動します。
-  1つ上のフォルダーに移動します。
-  現在表示中のフォルダーを再読み込みします。
-  プレビューウィンドウの表示倍率を下げて、ズームアウトします。
-  プレビューウィンドウの表示倍率を100%にします。
-  プレビューウィンドウの表示倍率を上げて、ズームインします。
-  フォルダーツリーパネルの表示/非表示を切り替えます。



- プロパティパネルの表示／非表示を切り替えます。
- プレビューウィンドウの表示／非表示を切り替えます。

## 7.2.4. サムネイル表示

サムネイルパネルには、以下の情報が表示されます。



画像ファイルの場合



その他のフォルダー・ファイルの場合

### 1. 画像サイズ情報／フォルダー・ファイル情報

一般的な画像サイズの場合に、その名称を表示します。(「HD 1080」「NTSC」「VGA」など)  
対応していないフォーマットの画像や、その他のフォルダー・ファイルの場合には、ファイル種別を表示します。

### 2. ファイル種別(アイコン表示)

画像の色深度とファイルフォーマットをアイコンで表示します。

### 3. サムネイル画像

メニューの[表示]－[サムネイルの大きさ]で選択されたサイズで、画像をサムネイル表示します。  
対応していないフォーマットの画像や、その他のフォルダー・ファイルの場合には、アイコンを表示します。

### 4. 画像サイズ

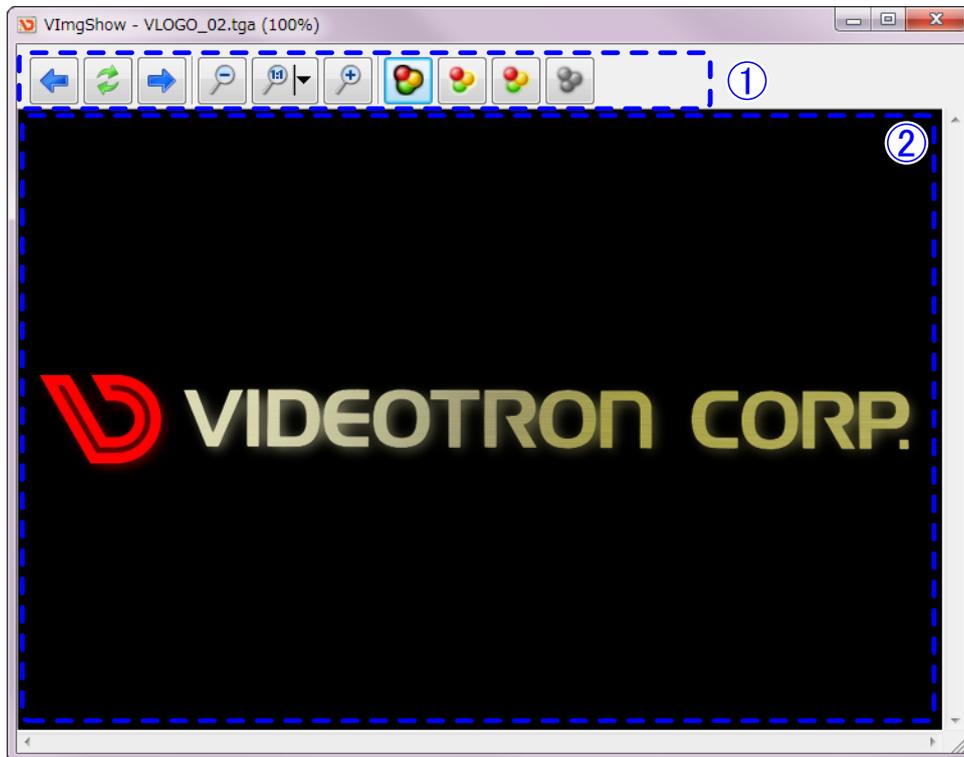
画像サイズを「幅×高さ」で表示します。

### 5. フォルダー・ファイル名

フォルダー・ファイル名を、拡張子を含めて表示します。

## 7.2.5. プレビューウィンドウ

画像のサムネイルをダブルクリックするか、ツールバーの[プレビューウィンドウの表示切り替え]ボタンをクリックすると、プレビューウィンドウが表示されます。



### 1. ツールバー

プレビューウィンドウを操作するための機能です。



- 現在表示中の1つ前の画像に移動します。
- 現在表示中の画像を再読み込みします。
- 現在表示中の1つ次の画像に移動します。
- 表示倍率を下げて、ズームアウトします。
- ボタン中央をクリックすると、表示倍率を100%(等倍表示)にします。  
ボタン右端をクリックするとサブメニューを表示します。

ウィンドウサイズに合わせる	*
ウィンドウの横幅に合わせる	
ウィンドウの高さに合わせる	
ズームイン	+
ズームアウト	-
100%表示	/

- ウィンドウサイズに合わせる…………… 画像全体が表示されるようにズームします。
- ウィンドウの横幅に合わせる…………… 画像の横幅をウィンドウサイズに合わせてズームします。
- ウィンドウの高さに合わせる…………… 画像の高さをウィンドウサイズに合わせてズームします。
- ズームイン…………… 表示倍率を上げて、ズームインします。
- ズームアウト…………… 表示倍率を下げて、ズームアウトします。
- 100%表示…………… 表示倍率を100%(等倍表示)にします。



表示倍率を上げて、ズームインします。



黒背景の上に画像をアルファブレンド表示します。



白背景の上に画像をアルファブレンド表示します。



画像の RGB チャンネルのみを表示します。



画像のアルファチャンネルのみを表示します。

黒背景／白背景／RGB／アルファチャンネルのみ のボタンにより、次のように表示が切り替わります。



黒背景アルファブレンド



白背景アルファブレンド



RGB チャンネルのみ



アルファチャンネルのみ

## 2. プレビュー画像

選択中の画像が表示されます。

画像全体がウィンドウ内に表示しきれない時(スクロールバーが有効の時)にウィンドウ内をマウスでドラッグすると、ドラッグした方向にスクロールします。

## 7.3. 印刷

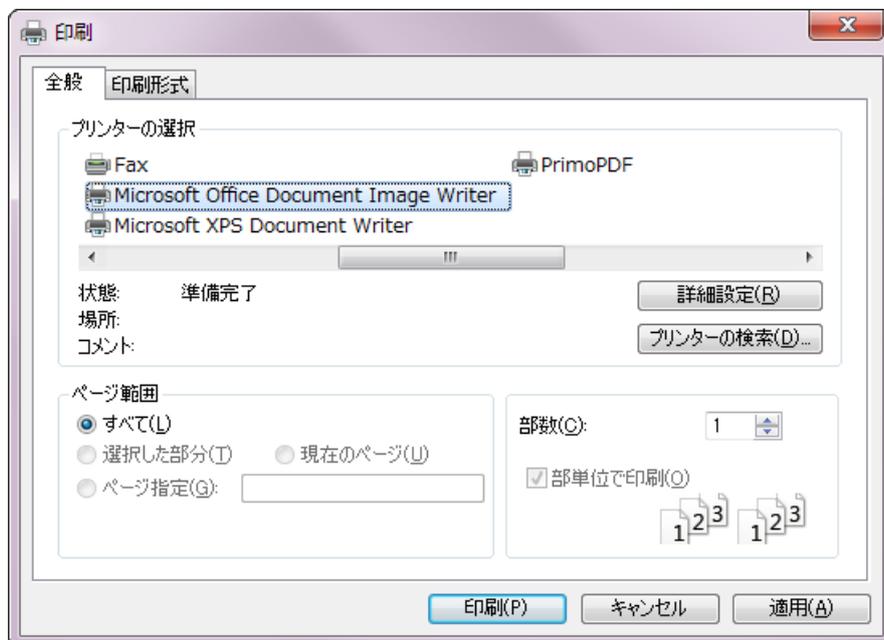
表示しているフォルダー内の画像を、印刷することができます。

用紙1枚に1画像を印刷するほかに、コンタクトシート(用紙1枚に複数の画像を出力)のような印刷形式も選択することができます。

- ※ サムネイルが表示されていない(読み出し中も含む)画像は印刷対象に含まれません。
- ※ 画質重視で印刷を行うため、スプールデータのサイズが非常に大きくなります。
- ※ 特にPDFに出力した場合、PDF変換の設定によっては100MBを超える場合もあります。

### 7.3.1. 画面説明

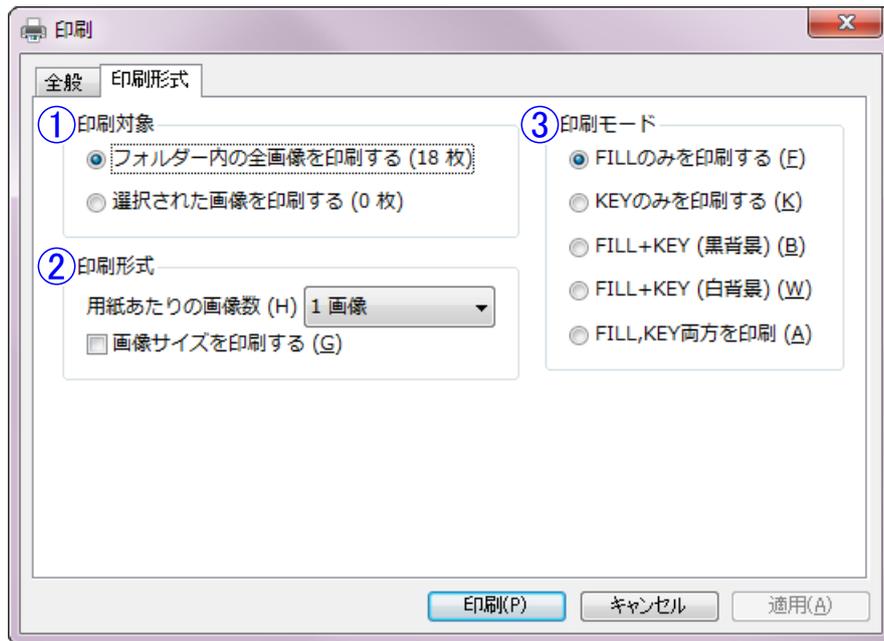
[ファイル]ー[印刷]を選択すると、印刷ウィンドウが表示されます。



[全般]タブには、お使いの環境に応じたプリンターの設定画面が表示されます。

詳しくはお使いのコンピューター・周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

[印刷形式]タブで、印刷する画像についての設定を行います。



### 1. 印刷対象

フォルダー内の全画像を印刷するか、選択されている画像のみを印刷するかを指定します。

### 2. 印刷形式

用紙 2 枚あたり何枚の画像を印刷するか、また画像サイズ(幅×高さ)を印刷するかを指定します。

用紙あたりの画像数は、以下のうちから選択することができます。

- 1 画像 .....用紙 1 枚に 1 画像を印刷
- 2 画像(1x2) ..... 2 行 1 列で 2 画像を印刷
- 8 画像(2x4) ..... 4 行 2 列で 8 画像を印刷
- 15 画像(3x5) ..... 5 行 3 列で 16 画像を印刷
- 24 画像(4x6) ..... 6 行 4 列で 24 画像を印刷
- 40 画像(5x8) ..... 8 行 5 列で 40 画像を印刷

### 3. 印刷モード

画像の印刷方法を指定します。

- FILL のみを印刷する .....画像の FILL のみを印刷します。
- KEY のみを印刷する .....画像の KEY のみを印刷します。KEY が含まれていない場合は白で印刷されます。
- FILL+KEY (黒背景) ..... 黒背景の上に画像をアルファブレンドして印刷します。
- FILL+KEY (白背景) ..... 白背景の上に画像をアルファブレンドして印刷します。
- FILL,KEY 両方を印刷 ..... FILL と KEY 両方を印刷します。最初に FILL、次に KEY が印刷されます。

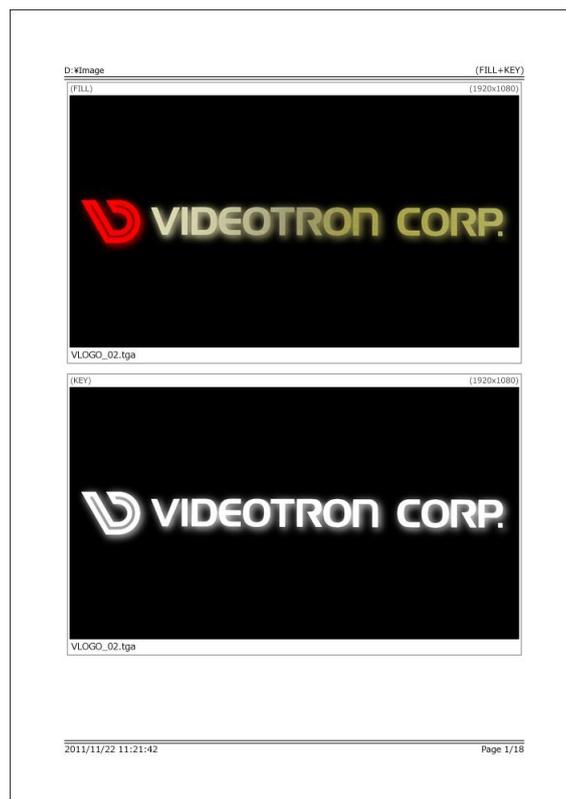
KEY が含まれていない場合、KEY は白で印刷されます。

### 7.3.2. 印刷サンプル

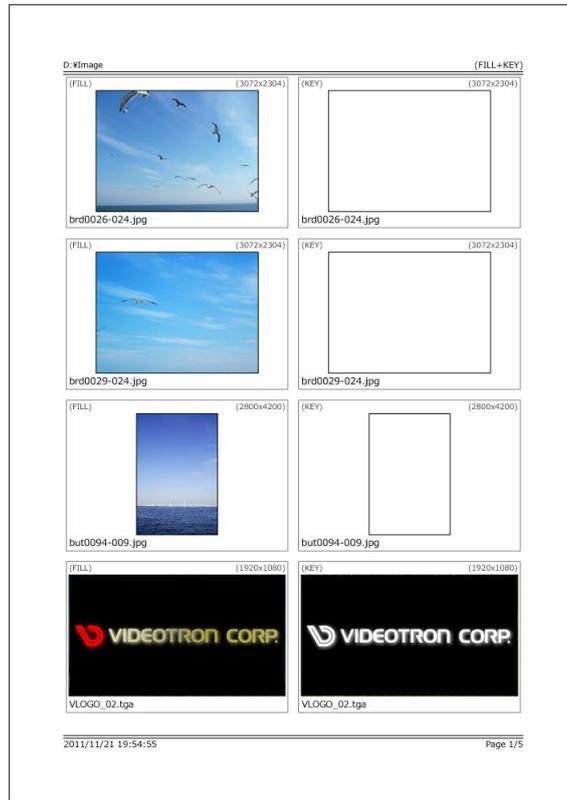
- 用紙 1 枚に 1 画像表示、FILL のみ、画像サイズを印刷



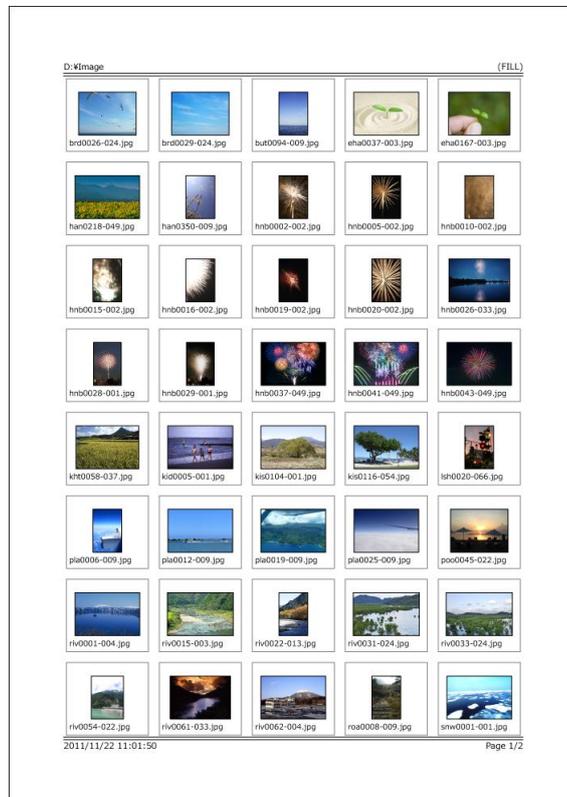
- 用紙 1 枚に 2 画像表示、FILL,KEY 両方を印刷、画像サイズを印刷



- 用紙 1 枚に 8 画像表示、FILL,KEY 両方を印刷、画像サイズを印刷



- 用紙 1 枚に 40 画像表示、FILL のみ



御使用者各位

## ビデオトロン株式会社

カスタマーサポート

### 緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

**ビデオトロン株式会社**      カスタマーサポート

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL                    042-666-6329

FAX                    042-666-6330

受付時間            8:30～17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話        042-666-6311

緊急時                090-3230-3507

受付時間            9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 無断転写禁止

- このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。
- このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。